

## <金標準、原油安・インフレ後退から利下げ観測の期待・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領はイラン経済における輸出入の 89%を海上輸送で補っており、その海上輸送を閉鎖している。そのためイラン経済は瀕死の状態であり、和平協議に前向きな姿勢を見せている。特にイスラエルとレバノンの 10 日間の停戦合意を受け、アラグチ・イラン外相は停戦期間中「すべての商船の航行にホルムズ海峡は開放されている」と SNS に投稿し、WTI 原油先物は 94 ドルから一時 80.98 ドルまで下落するなど、リスク緩和の動きを見せている。またトランプ大統領は、停戦協議ではイランが核の放棄で合意したと発言し、関係者の話では「再協議は 20 日に開催される」と述べている。

特に金利はイラン戦争を機に原油価格の上昇で政策金利に近い短期 2 年債が、インフレ懸念から政策金利の 3.75%を上回っていたが、週末のリスク緩和に伴い 3.75%を下回る 3.70%へ低下しており、市場では利下げ期待の動きを見せている。そのため金利を生まない金にとって有利な環境が芽生えだしており、底堅い値動きが続くと思われる。

### <テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が上昇し、シグナルは上昇している。RCI は短期が高値を維持し、長期は上昇している。特に日足が指数平滑移動平均線のレンジを上回りながら存在しており、下値は限定的な値動きに思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 5,125,000 円(2026 年 4 月 20 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 50 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 116,160 円(2026 年 4 月 20 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>